

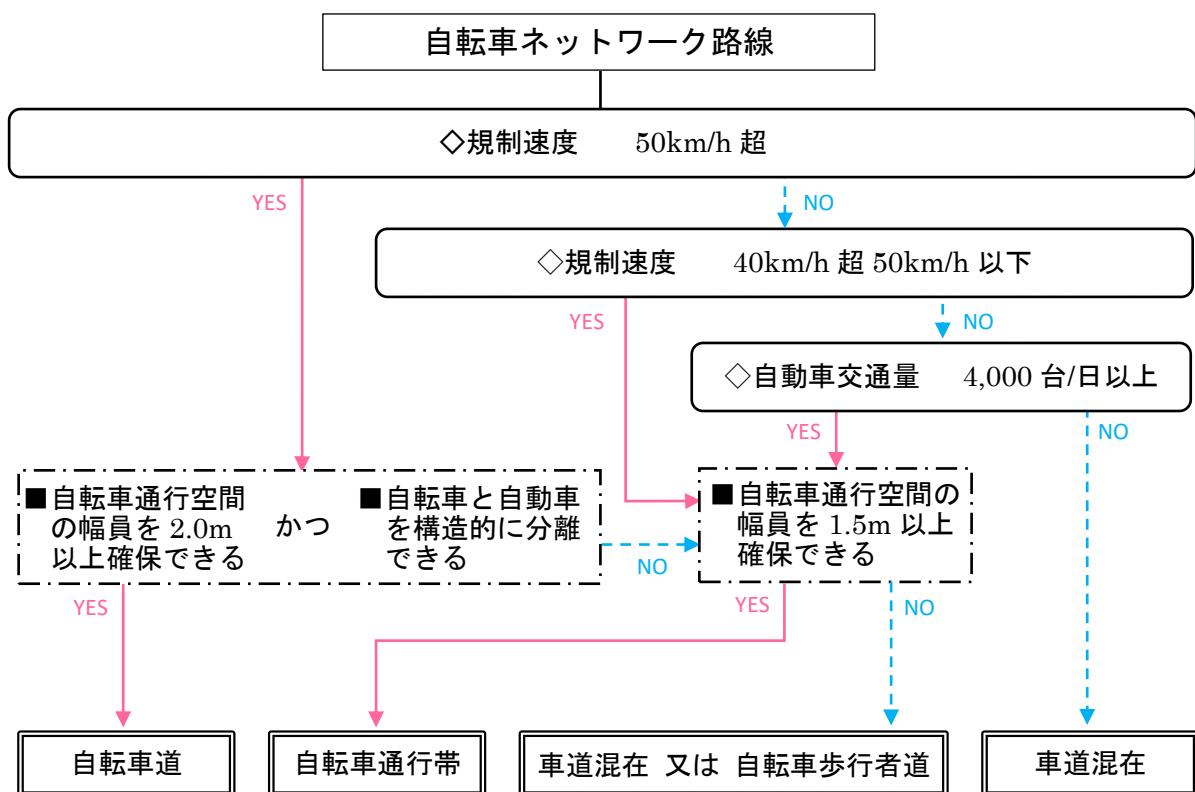


図 ネットワーク計画図（折尾地区）

## (2) 自転車通行空間の整備








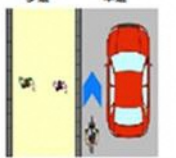







自転車通行空間の整備においては、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン（平成28年7月国土交通省・警察庁）」や平成31年4月の「道路構造令」の改正を踏まえ、下記の基本的な考えのもと、対象路線の交通状況を総合的に勘案したうえで、交通管理者などと協議しながら適切な整備形態を選定します。

<自転車通行空間の整備形態選定の基本的な考え方>



※空間的制約等により上記整備形態が困難な場合は、代替路の検討を行う。  
また、将来、改良工事实施の際には、再度整備形態を検討する。

<自転車通行空間の整備形態と整備イメージ>

整備形態		整備イメージ		
自転車道				
自転車通行帯				
車道混在				
自転車歩行者道	(分離タイプ)			
	(共存タイプ)			

## 施策2. 利用しやすい駐輪環境の形成

ニーズや利用特性に応じた駐輪施設の整備や主要駅等に設置した市営有料自転車駐車場の利便性向上により、利用しやすい駐輪環境の形成を図ります。

### (1) ニーズや利用特性に応じた駐輪施設整備の推進

自転車利用や放置自転車の状況を踏まえ、目的や日時等の利用特性に応じた駐輪施設の整備を推進します。

また、自転車と公共交通との連携を強化し、相互の利便性の向上を図るため、JR 駅やモノレール駅、バス停における駐輪施設の整備を推進していきます。

＜八幡駅前自転車駐車場＞



＜堺町地区の駐輪施設＞



＜三萩野バス停自転車駐車場＞



資料：北九州市道路維持課

### (2) 市営有料自転車駐車場の利便性向上

利用者の入退場をスムーズにするために、電磁ロック式ラックや自動精算機、自動定期券更新機などの導入を検討します。

また、近年利用が増加している電動アシスト付自転車や子ども乗せ自転車といった多様な車種に対応できる駐輪スペースの確保に努めるなど、自転車利用者にとって使いやすい施設を目指した取り組みを推進します。

＜電磁ロック式ラック＞



＜子ども乗せ自転車に対応した駐輪施設の整備事例＞



資料：北九州市道路維持課

### 施策3. 放置自転車対策の推進

自転車や歩行者の通行阻害や都市景観の悪化などの要因となる放置自転車に対し、利用しやすい駐輪環境の形成とあわせて、「北九州市自転車の放置の防止に関する条例」に基づく自転車放置禁止区域の指定や放置自転車の撤去のほか、駐輪ルールに関する広報・啓発などの取り組みの充実を図ります。

#### (1) 自転車放置禁止区域の指定と放置自転車の撤去

放置自転車の多い地域については、必要に応じて自転車放置禁止区域の拡大や新たな指定を検討します。また、自転車の放置の多い時期や時間帯などを踏まえ、効果的な放置自転車の撤去を実施していきます。

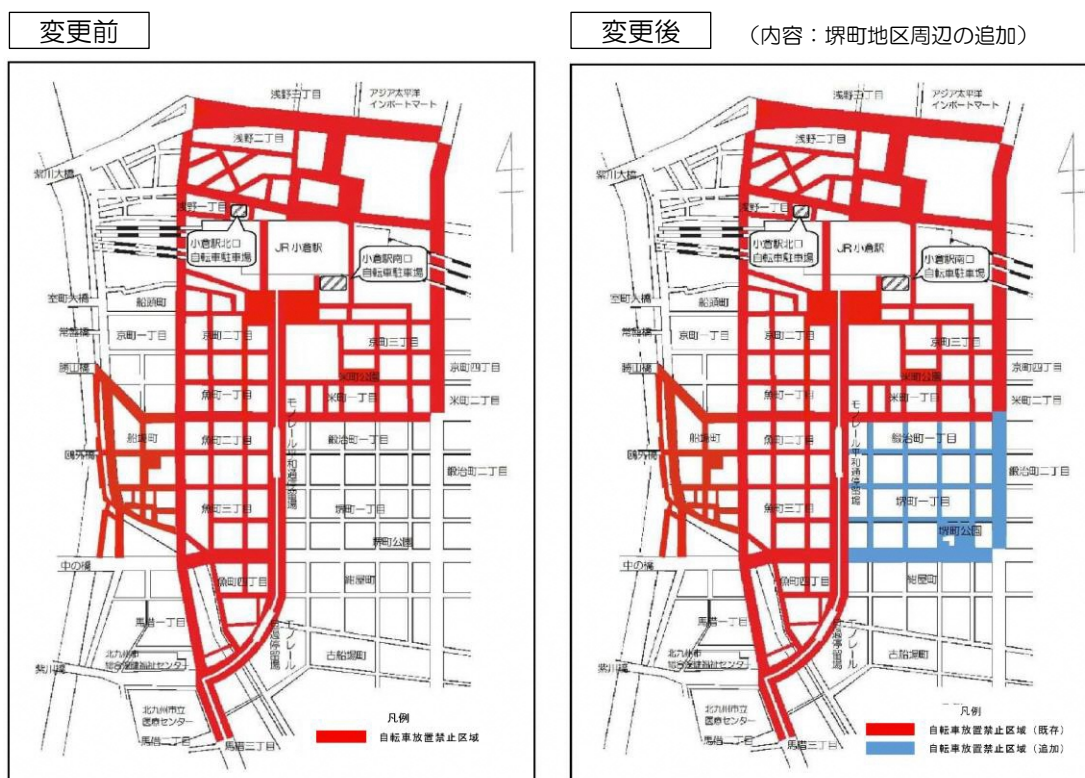


図 JR小倉駅周辺地区自転車放置禁止区域の拡大 (R2.3)

資料：北九州市道路維持課

#### <放置自転車の撤去(夜間)>



資料：北九州市道路維持課

## (2) 駐輪ルールに関する広報・啓発

駐輪指導員による啓発や駐輪施設への誘導のほか、街頭啓発や市内の高等学校へのパンフレットの配布などの広報・啓発活動を継続的に実施します。

<放置自転車の防止に関するパンフレット>



資料：北九州市道路維持課